

令和元年度 第2回県有施設・資産有効活用戦略会議

日 時 令和2年1月28日(火)
午前10時～11時
場 所 第4応接室

1. 開 会

2. 座長（副知事）あいさつ

3. 議 事

- ・ 青谷上寺地史跡公園整備へのPFI手法導入検討について

4. 報告事項

- ①PPP／PFI事業の進捗状況について
- ②県・米子市の体育施設のあり方検討について

5. 閉 会

■鳥取県PPP／PFI優先的検討方針の概要[28.3.29策定]

○検討対象事業

- ①建設費の総額が10億円以上の公共施設整備事業（新設・改修）
 - ②単年度の運営費が1億円以上の公共施設整備事業（運営等）
- ※他自治体で実績のある事業や公の施設の管理については、事業費が上記金額を下回っても検討を行うことができる。

○検討プロセス

ア 事業担当部局から総務部への協議

※ PPP／PFI手法の活用にあたっては、実施検討から事業実施まで複数年を要することが一般的であるため、導入スケジュールを考慮して初動段階から行財政改革局に協議を開始してください。

イ 第一次検討の実施（庁内での定量評価及び定性評価）

ウ 第二次検討の実施（コンサルティング事業者による導入可能性調査を参考とした評価）

【今回の検討事項】

青谷上寺地史跡公園の整備・運営手法として、PPP／PFI手法導入の適否を検討

青谷上寺地史跡公園整備へのPII手法導入検討

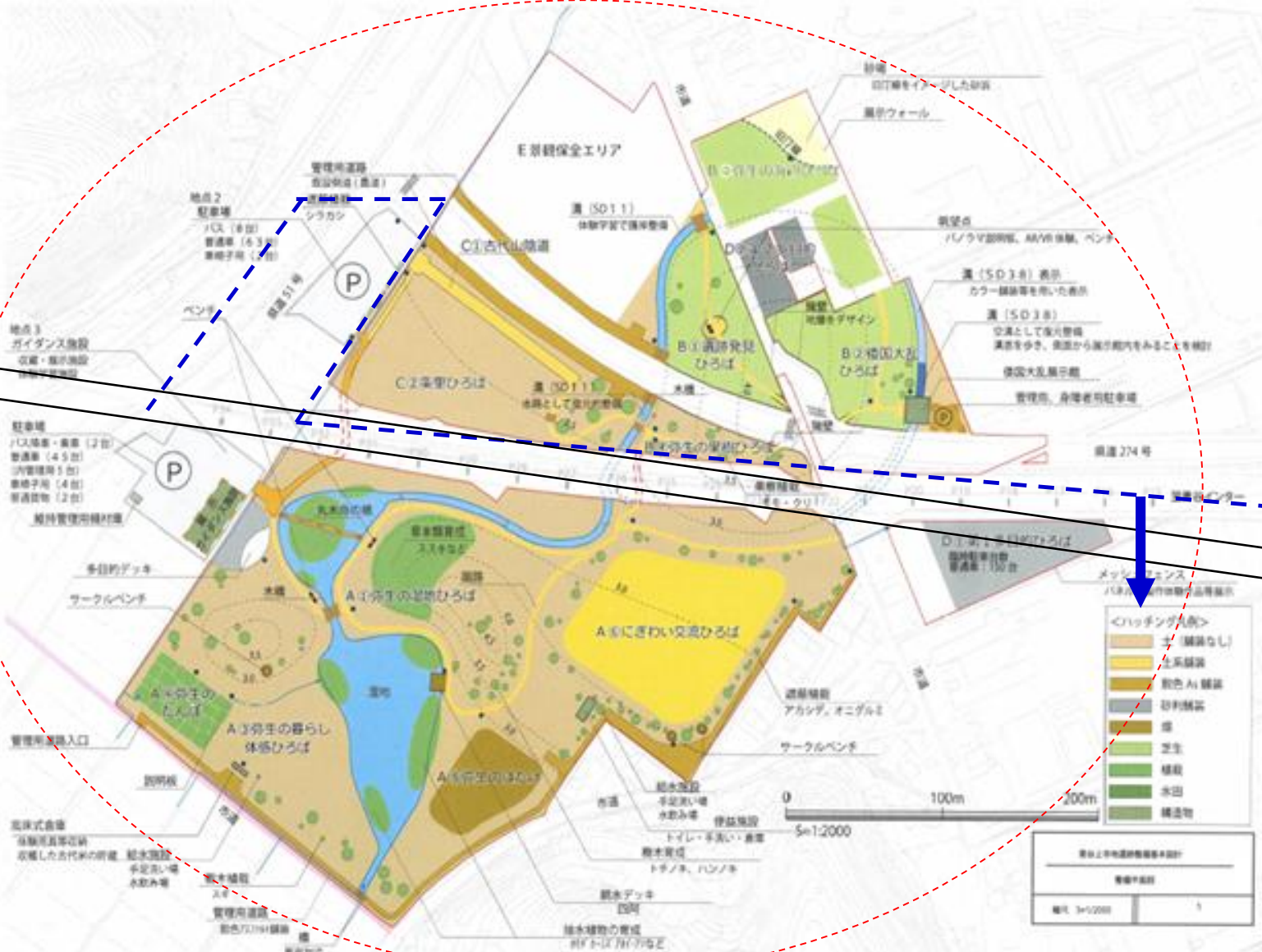
■公園整備のイメージ

B案

A案

山陰道
(至鳥取)

(至米子)



青谷上寺地史跡公園整備へのPFI手法導入検討

■導入可能性調査中間報告概要

○VFMの試算結果

| 事業期間はいずれも 整備～維持管理で20年を 想定 | | (A案) 山陰道南側及びエントランス のみの整備 ① | | (B案) ①に山陰道北側、高架下・道路 予定地を追加 | |
|---------------------------------|-------|----------------------------------|------|----------------------------------|-----|
| | | 県の財政負担額 | VFM | 県の財政負担額 | VFM |
| 県直営整備・維持管理 | | 約8.9億 | | 約9.6億 | |
| PFI | BTO | 約9億 | 約-1% | 約9.2億 | 約4% |
| PPP | DBO | 約8.8億 | 約1% | 約9.1億 | 約5% |
| | P-PFI | 約9.0億 | 約-1% | 約9.2億 | 約4% |

○マーケットサウンディングの結果

<肯定的な意見>

- ・人が集まる仕掛けやブランディング、情報発信、広報、運営に民間ノウハウが活かせる。

<否定的な意見>

- ・整備を進めていく段階でも、史跡指定地内の現状変更の文化庁協議や遺跡調査結果により事業期間が不確定なことを懸念。
- ・文化庁補助金を活用することにより、多くの工区に分離され整備期間が10年程度になると建設物価や人件費の予測が困難。
- ・事業進捗の調整は、県の経費負担の増額が条件。
- ・施設整備及び維持管理業務の経費削減率は0～5%程度と想定され、県が見込む10%は困難。
- ・山陰道の南北分割発注（A案）でPFI事業とするには、事業規模（事業費）が小さい。

青谷上寺地史跡公園整備へのPFI手法導入検討

■第二次評価結果概要

- 事業対象範囲を全体(B案)とすれば、PFI手法による整備は理論的には可能。
- 一方で、事業者の参画意欲が必ずしも高くない上、行政のコスト削減効果(VFM)が小さい。
(20年間で4,000万円、年あたり200万円程度)
- 地元をはじめ早期着手が望まれる中、PFI手法を導入する場合は、事業着手までに今後2年間は必要。
- 文化庁補助金が10年程度に分割して交付されることで、工期が長期に渡ることによる事業費の物価変動リスクや、補助金交付に対応した工期変更(それに伴う行政コスト増)が懸念される。

ことなどを総合的に勘案



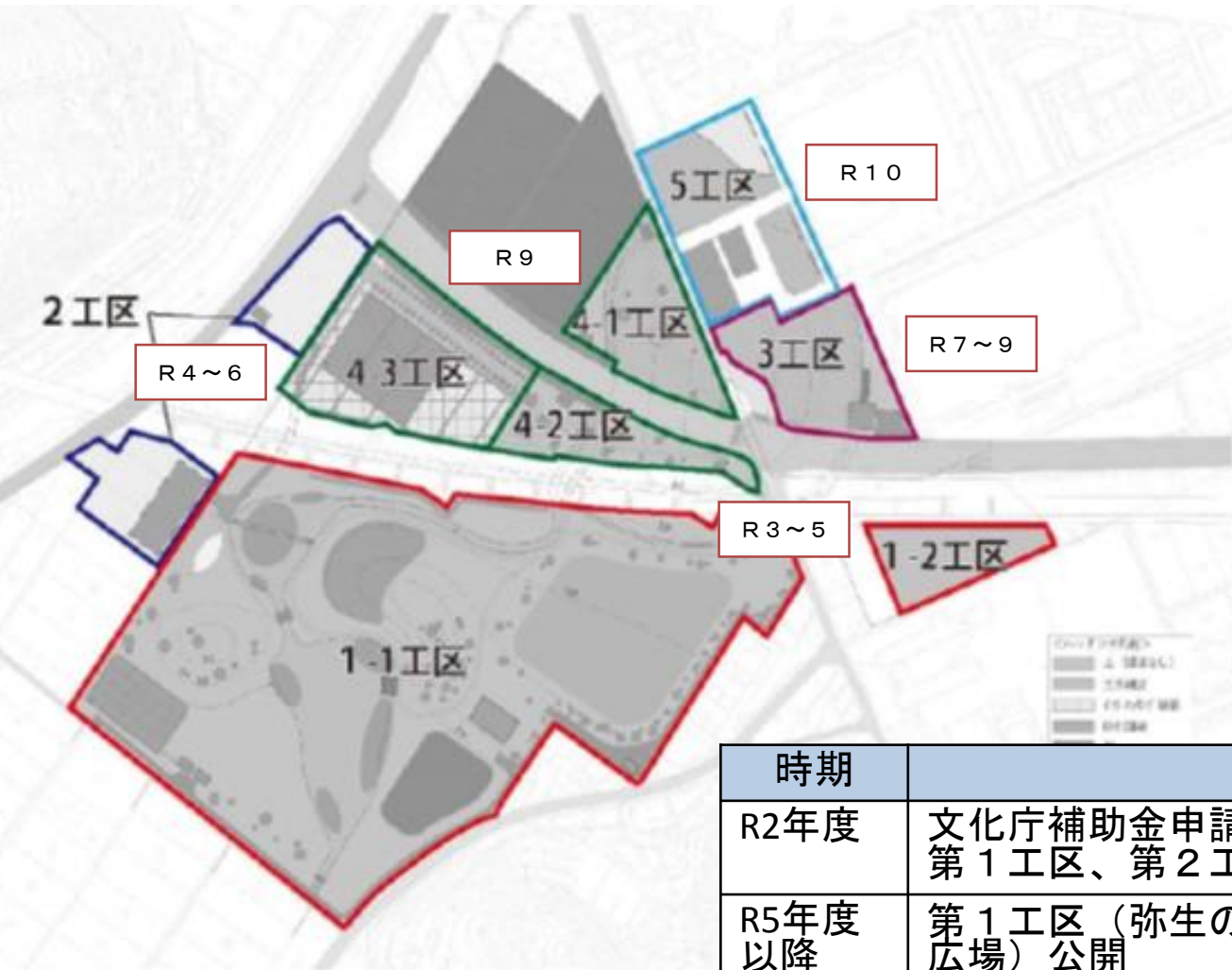
【第二次検討の評価結果案】

- PFI手法を導入せず、文化庁の補助金を活用しながら従来型手法(県直営)で整備する。
- 運営面では専門的知見を持つ県職員が担わなければ支障のある業務を除き、指定管理者制度を導入する。(例:むきばんだ史跡公園)

※マーケットサウンディングの肯定的な意見を反映させるため、より一層民間ノウハウを活かす努力が必要。

青谷上寺地史跡公園整備へのPII手法導入検討

■今後の整備予定



| 時期 | 内容 |
|--------|--|
| R2年度 | 文化庁補助金申請 第1工区、第2工区事業着手 |
| R5年度以降 | 第1工区（弥生の湿地ひろば、にぎわい交流広場）公開 ※以後、順次、整備終了工区から公開 |
| R11年度 | グランドオープン |

■美術館PF（教育委員会）

- ・1月15日に事業者選定結果を公表。（落札者：大和リースグループ）
- ・2月議会に契約締結の附議案を提案予定。

【経緯】

- 11月29日 提案書の提出の締め切り
- 1月 9日 県民参加型公開プレゼンテーションの開催（600名参加）
事業者ヒアリング
- 1月10日 審査会で最優秀提案を選定
- 1月15日 審査会の選定結果を踏まえて落札者を決定し教育委員会に報告
（落札者：大和リースグループ）
- 2月上旬 審査講評及び客観的評価の公表
- 2月 2月議会に契約締結の附議案を提案予定

PPP／PFI事業の進捗状況

■発電施設コンセッション（企業局）

県外大手・県内企業による7グループのコンソーシアム（全50社）の参加を得て、令和2年9月の事業開始に向け、事業者を選定中

- ・12月26日に第二次提案書の提出を締め切り。
- ・令和2年2月中に優先交渉権者の決定及び公表を予定。

【事業概要】

○事業方式

PFI＋コンセッション方式

○事業期間

| 対象施設 | 運営維持業務 開始日 (運営権効力発生日) | 運営維持業務 完了の日 | 運営権対価 (最低提案額) | |
|----------|-----------------------------|-----------------------------------|--------------------|------|
| | | | 一括金 | 分割金 |
| 小鹿第一発電所 | 再整備業務完了 翌日 | 新設区分の調達価格 による調達期間満了日 (20年後) | — (再整備費 と相殺) | 64億円 |
| 小鹿第二発電所 | | | | |
| 日野川第一発電所 | | | | |
| 春米発電所 | 令和2年9月1日 | | 38億円 | |

PPP／PFI事業の進捗状況

■西部総合事務所新棟整備PFI（総務部）

- ・1月29日に鳥取県PPP／PFI推進地域プラットフォーム関係者を対象として、現段階の事業概要を説明の上、意見交換や現地視察を予定。
- ・米子市との間で、新棟整備に関する情報共有や業務連携について検討を行う協議会を2月上旬に設置予定。（11月25日に設置準備会を開催済）
- ・2月中旬に第1回受注者選定等審査会の開催を予定。
- ・4月上旬に実施方針を公表予定。

【事業スケジュール案】

| 年度 | 内容 | |
|-----|-----|---|
| R 1 | 年度内 | 募集関係書類（実施方針、要求水準書）の作成 |
| R 2 | 4月 | 実施方針の公表 |
| | 6月 | 委託料（サービス購入費）の債務負担行為設定（議会議決） |
| | 7月 | 特定事業の選定・入札公告 |
| | 1月 | 事業者決定 |
| | 3月 | 契約締結（議会議決） |
| R 3 | 4月 | 事業契約の締結、事業開始 設計・建設 ～R 5 秋 供用開始 R 5 秋 維持管理期間 R 5 秋～（15年間） |

今後の人口減少・少子高齢化や厳しい財政状況を踏まえると、県と市町村の垣根を越えた施設配置や整備が求められる中、老朽化の著しい米子市民体育館をはじめとする米子市内の体育施設のあり方を令和元年8月から検討協議会を設置して検討。

1 検討協議会メンバー

県：総務部長、行財政改革局長、スポーツ振興監

米子市：総務部長、経済部長、文化観光局長

2 検討協議会開催日時・場所

第1回 8月30日(金)

第2回 10月29日(火)

県・米子市の体育施設のあり方検討

3 協議会としての検討の基本的方向性

米子市民体育館、市営武道館と米子産業体育館を統廃合し、新体育館を県と市で共同整備する。

<候補地>

東山公園内(米子市東山町)

<想定規模>

県西部の拠点体育館として、現在の米子産業体育館(延床面積:8,258㎡)よりもひとまわり大きい規模を想定

<機能等>

- ・メインアリーナとサブアリーナを整備
- ・障がい者スポーツ機能、防災機能(避難所、防災備蓄)を付加

<経費>

今後、詳細な施設内容(機能ごとの整備面積等)を固めていく中で概算費用及び県・市の負担割合を決定

4 今後の検討の進め方

新体育館に必要な機能、規模等について県・市議会等の意見も聞きながら、県と米子市との間で基本合意が得られた後、利用者や地元自治会、有識者による検討組織を作り、検討をさらに進める。(検討組織の所要経費の予算について、2月議会に提案予定)

県・米子市の体育施設のあり方検討

【参考】県・市体育施設の施設概要

| | 米子産業体育館 | 米子市民体育館 | 市営武道館 |
|------|--|---|--|
| 所在地 | 米子市東福原 | 米子市東山町 | 米子市糺町 |
| 設置年 | 昭和57年（築36年） | 昭和44年（築49年） | 昭和49年（築44年） |
| 耐震性 | 新耐震 | 旧耐震 | 旧耐震 |
| 施設規模 | 敷地面積20,925㎡ 延床面積 8,258㎡ | 敷地面積10,103㎡ 延床面積 6,490㎡ | 敷地面積 1,366㎡ 延床面積 1,499㎡ |
| 施設機能 | 大体育館、小体育館、会議室、フィットネスルーム | メインアリーナ、会議室 | 柔道場、剣道場、会議室 |
| 運営 | 指定管理者 | 指定管理者 | 指定管理者 |
| |  |  |  |